

1. 事業の概要 (Plan)

	コード	名 称		担当所属	自治振興課	
事務事業	501511	生活交通確保対策事業経費		氏 名	課長 大滝 一芳	
総合計画での位置づけ	政策	4-7	公共交通の充実	予算科目	会計	01 一般会計
	施策	1	生活交通確保対策の推進		款	02 総務費
根拠法令・要綱等	村上市生活交通確保対策補助金要綱・村上市地域公共交通活性化協議会規約・村上市地域公共交通総合連携計画				項	01 総務管理経費
					目	06 企画費
対 象 (誰を、何を、どこを)	市民					
目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	将来にわたって持続可能な移動手段の確保					
開 始 年 度	平成 23 年度	関連事業	なし			
終 了 年 度	平成 - 年度					
本年度事業内容 (目的実現のための手段及び活動実施内容、やり方、手順など)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか循環バスの運行 ・せなみ巡回バスの運行 ・通院対応のりあいタクシーの運行 ・路線バス補助 ・地域公共交通活性化協議会の運営 ・学割の実施(路線バス) ・利用普及啓発活動 他 					

2. 事業実施実績と実施見込み (Do)

活動指標	指 標 名	単 位	H23		H24		H25		H26		
			目標	-	目標	-	目標	-	目標	-	
	別紙参照			実績		実績		実績		実績	見込
				目標	-	目標	-	目標	-	目標	-
			実績		実績		実績		実績	見込	

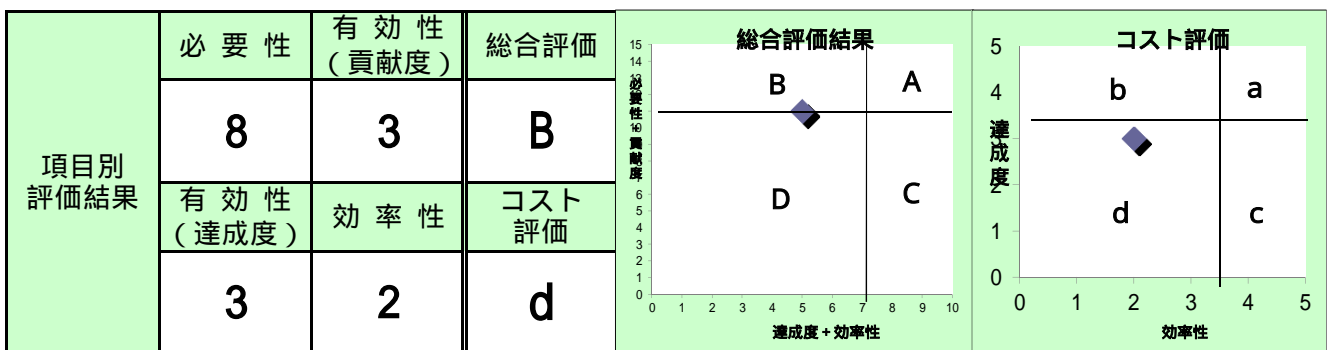
成果指標	指 標 名	指標設定の考え方	単 位	H23		H24		H25		H26	
				目標	-	目標	-	目標	-	目標	-
	別紙参照			実績		実績		実績		実績	見込
				目標	-	目標	-	目標	-	目標	-
			実績		実績		実績		実績	見込	

数値で表せない成果 (見込み)

事業コスト	年 度	H23 (決算額)		H24 (決算額)		H25 (決算額)		H26 (当初予算額)		H26 (見込み額)		
	直接事業費 a	(千円) 177,153		(千円) 189,251		(千円) 199,599		(千円) 208,003		(千円) 207,000		
	(主な費用)	負担金	14,681		29,909		34,391		41,480		41,000	
		補助金	162,472		159,342		165,208		166,523		166,000	
	財源内訳	国庫支出金										
		県支出金	10,253		10,237		9,513		8,873		8,800	
		地方債	14,600		29,900		34,300		32,000		32,000	
		その他										
	一般財源	137,700		119,214		121,486		135,130		134,200		
	人件費 b	3.000人	22,782	3.000人	22,491	3.000人	22,401	2.000人	14,768	2.000人	14,768	
	総コスト(a+b) c	199,935		211,742		222,000		222,771		221,768		
市民一人当たりの額(c/人口)	(円) 2,965		(円) 3,179		(円) 3,375		(円) 3,431		(円) 3,416			

3. 事業の評価 (Check)

区分		評価		説明
必要性	ニーズ	3	どちらとも言えない	自家用車の普及と運転免許証の取得率の高まりにより総合的なニーズが高いとは言えない。ただし、人口減少、高齢化により真に必要とする利用者の増加が見込まれるため。
	公共性	5	行政以外にはできない事業である。	対象とする人が不特定多数であるため。
有効性	達成度	3	どちらとも言えない	交通インフラとしての整備を目標にしているため、目標としての利用者数を設定していないため。
	貢献度	3	どちらとも言えない	より利便性を高めるために現在模索中であるため。
効率性		2	ややコストが上回り、または見込みであり改善が必要である。	自家用車の普及、人口密度の低下により公共交通におけるコスト高は全国的に否めない問題である。



4. 今後の方向性 (Action)

事業の 方向性	方向性	継続
	理由	村上市は他市より大きな面積を有しており、加えて加齢、過疎化等の要因で移動困難になるケースが推察されます。そこで、誰もが日常生活に不安を感じることなく安心して生活するためには移手段の確保は必須と考えるからです。
	今後の対応 (改善策等)	大量輸送という公共概念から、交通弱者救済という考え方への転換による事業対応の充実が求められる。

5. 【総合評価】 (行財政改革推進本部会議)

結論	今後の方向性	
	当該事業の今後の方向性はどうか。	
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (理由) 担当課の方向性を了承する。	

活動指標	指標名	単位	H23		H24		H25		H26	
	地域公共交通活性化協議会決定のバス運行	便数	目標	-	目標	-	目標	-	目標	8,610
			実績	1,688	実績	4,193	実績	7,312	見込	8,610
	地域公共交通活性化協議会決定の通院対応タクシー運行	便数	目標	-	目標	-	目標	-	目標	6,400
			実績	2,332	実績	6,966	実績	6,337	見込	6,200
路線バス補助	便数	目標	-	目標	-	目標	-	目標	37,455	
		実績	42,149	実績	41,599	実績	39,850	見込	37,455	
地域公共交通活性化協議会 開催数	回数	目標	-	目標	-	目標	-	目標	3	
		実績	3	実績	3	実績	3	見込	3	
			目標		目標		目標		目標	
			実績		実績		実績		見込	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	H23		H24		H25		H26	
	地域公共交通活性化協議会決定のバス利用者人数	公共交通存続の目的で利用頻度を測るために設定	人	目標	-	目標	-	目標	-	目標	32,000
				実績	2,766	実績	8,540	実績	24,845	見込	31,100
	地域公共交通活性化協議会決定の通院対応タクシー利用者人数	公共交通存続の目的で利用頻度を測るために設定	人	目標	-	目標	-	目標	-	目標	7,500
				実績	2,210	実績	5,564	実績	7,287	見込	7,450
路線バス補助対象の利用者人数	公共交通存続の目的で利用頻度を測るために設定	人	目標	-	目標	-	目標	-	目標	118,000	
			実績	123,350	実績	109,768	実績	108,275	見込	112,000	
			目標		目標		目標		目標		
			実績		実績		実績		見込		

数値で表せない成果 (見込み)			目標		目標		目標		目標
			実績		実績		実績		見込
			目標		目標		目標		目標
			実績		実績		実績		見込